

第578回 新潟放送番組審議会 議事録

- 議 題

テレビ報道番組
「農ガール かなやん奮闘記」



平成 24 年 6 月 22 日

BSN新潟放送

第578回新潟放送番組審議会

1.開催日時 平成24年6月22日(金)午前11:00~

2.開催場所 BSN本社 6階会議室

3.委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	委員	高井盛雄
委員	正道かほる	委員	古賀豊
委員	渡辺隆	委員	齋藤俊太郎
委員	小島良子	委員	行形貴子

(書面)

委員側欠席者(敬称略・順不同)

副委員長	相羽利子	委員	佐々木広介
------	------	----	-------

新潟放送側出席者

社長	竹石松次	常務	熊倉雄三
編成局長	野島常雄	報道制作局長	梅津雅之
ラジオセンター長	小原弘志		

説明員 報道制作局情報センター 記者 酒田暁子

新潟放送側欠席者

営業局長 島田好久

事務局

社長室長	佐藤隆夫(事務局長)
考査広報部長	野上信子(事務局員)

4.議題

1.報告事項

7月の新番組・単発番組について(各局長)

2.審議事項 テレビ報道番組「農ガール かなやん奮闘記」

放送日時:5月27日(日)24:50~25:45

5.議事の概要

~番組審議委員の主な意見・質問~

主人公の坂下可奈子さんの明るい笑顔や何があってもくじけないキャラクターと若い人が来るならどんなことでも協力する、池谷集落の方々の前向きに取り組む姿など良いシーンがたくさんあり魅力的な番組であった。

20代の主人公の若さと、それをとり巻く集落の人々の笑顔を非常に良く捉えていた。都会生活では感じる事がなかった、人と関わり支えあうことの大切さ。「大きなお世話をやいて大きなお世話をやかかれての繰り返し」主人公の言葉が象徴的で心の成長が感じられる。

主人公が決まっていた就職を断ってまで、なぜ池谷集落に来たのか動機の説明がなかったし、バックグラウンドがほとんど紹介されていなかった。もうひとつのテーマである限界集落と呼ばれる池谷についても説明が足りなかった。6世帯の方々の情報や他の集落との関わりなど、簡単でいいから基本的な紹介をしたほうが良かったのではないかと。他の新規就農者についても同様。

全体的になごやかで楽しい面がクローズアップされていたが、背景には経済的な問題や結婚・子育て・医療の問題、過酷な農作業など現実の厳しさがあるはず。番組を見ていて主人公の将来に不安を感じた。ぜひ継続取材をして2・3年後を見せてほしい。

こんなにいい番組なのに、放送時間が深夜では勿体ない。日中の時間帯で放送して大勢のひとに見てもらいたい。

【制作者のコメント】

昨年、限界集落の取材で池谷の方々と出会いがあり、坂下可奈子さんが2カ月後に移住してくることを知った。なぜ一人で来るのか知りたくて取材をした。学生時代に農業支援のボランティアに来て、池谷の方々に心よく受け入れられたが、集落の厳しい現実を目の当たりにして自分が力になりたいと考え飛び込んだ。「なぜ」を知りたくて取材をはじめたが、番組にうまく生かせなかったのが反省点である。

農業の厳しさを描こうと取材を重ねたが、坂下さんはどんな場面でも楽しくへこたれないので苦悩が見えにくい。しかし豪雪のシーンでは伝えることができた。

近い将来、子だくさんでたくましく農業にはげむ坂下さんを番組にしたい。今後の彼女を映し出すことにより全国で過疎化の問題をかかえている方々のヒントになればと期待している。これからも真摯に向き合い取材を続けたい。

【文責・番組審議会事務局】